

動物園への遠足と反省

吉 田 美 智

返る十一月七日左記の要領で遠足をおこなったが、それについての反省をまとめてみました。

一、場所 大阪市天王寺動物園

時間、九時二十分～十五時三十分。参加人員、二年保育三十五名、

一年保育四十名、それに保護者の

希望者七十四名 職員六名(内先生は二名)

一、実施前の指導および反省

遠足の五日前より象、熊、河馬などの歌を唱い、動物園の本を毎日

少しずつ読んで聞かせた。動物の習性などはかなり深いところまで

興味を持って聞くので幼児の発言を重んじながら進めていった。一

般に男児の方が興味が強く、IQの高い

者や観察的なことを好まない幼児には、紙芝居やスライドを

利用した方が効果的であった。スライドも動物の習性を童話的に、

其中へ入れ実習とミックスして
映写したらよかったと感じた。またリズム遊び其の他で交通道徳や整列の練習をおこなっておい

二、現場における指導と反省

当日はさいわい良い天気恵まれたが、風がつめたかった。やはり

時季としては十月中におこなった方が

良いように思った。集合は奈良駅

に汽車の発車前二十五分、乗車時間一

時間、下車駅より徒歩で約十分。動物園に着く。まず幼

児と保護者が二列に並び見学を開始す。人数の関係で説明が徹底せ

ず親まかせになつて困つた。こんな場合、保護者を少なくすること

も考えられるが、参加希望者が多いので、やむなく全部同行した。

現場指導の点から来年からもう少し隊形や区分けを考える必要があり

と感じた。中食は五十分の自由

行動を許したが、二三の保護者が

売店で玩具類を買つて園児に与えていた。事前に保護者に対する注

意を徹底させておかなかつたのは失敗であつた。また時間の配分が

適切を欠き、幼児の好きな動物の所でじゅうぶんに見ることが出

来なかつたのは残念であつた。お菓子

は五十円以下に制限して各自持参させた

が、今度の場合は良かった。

三、実施後の指導と反省

翌日は疲れの為、とくに休む者はなかつた。話し合い、動物の自由

表現をして、平日より一時間早く帰宅させた。二日目より、八日間

にわたり動物園ごっこに展開したが、あ

きることなくよろこんでいた。奈良には安全で美しく、広い

公園があつても、珍らしい動物を見たり、

汽車に乗つたり出来る場所を遠足地として撰ぶのも良いと思つた。また海のない県なので、

広い海、汽船、燈台などを見せてやる

ことが出来たらと考えるが、時間や経費の点で実施出来ないことを残念に思つている。

私がお茶の水の幼稚園時代にクローバの花が咲いている本校の草原へ及川先生に連れていつた

だいたことがおりにふれて思い出される。あの頃は、ずいぶん遠くまで歩いたものだと思つていた。

そして何より楽しかつたのですが時代の移り変りとともに幼稚園の遠足もずいぶん変わったものだと考えさせられます。

(奈良学芸大学付属幼稚園)

遠 足

桐 井 つ た

半年ばかり前から二・五軒離れた住山という戸数七十戸の部落へ四軒迂回して国鉄バスが通るようになり、幼稚園から一歩出た所に